

JSL カリキュラム「算数科」 学習指導案

日 時 令和4年10月21日（金）

第5校時 13:40～14:25

授業者 板橋区立板橋第八小学校 衛藤 景太

.....

1 単元名（学年）：単体量あたりの大きさ（5年）

2 対象（個人情報のため詳細は省略）

学年：小学5年生

日本語の力：DLAステージ（3）

3 在籍学級の授業との関係（該当するものに○）

①取り出し指導の時間 単元の全時間取り出し / 一部取り出し（5時間中2時間）

②一部取り出しの場合 先行 / 並行 / 後行

4 本単元の目標

①算数科の目標

混み具合などの比べ方を考え、単体量あたりの大きさの意味や表し方を理解し、それをを用いることができる。

②日本語の目標

[聞く・読む] 比較の表現「どちらのほうが～」を理解し、問題文で問われていることが分かる。

[話す・書く] ・自分の考えを「まず・つぎに・だから」などを使って説明することができる。

・比較「～のほうが・・・です。」を使った表現を使うことができる。

5 単元計画（在籍学級での学習と取り出しでの学習の別を明示）簡単に

（在…在籍学級での算数科の時数、目…日本語学級での時数）

在時	目時	主な学習活動	評価規準 【】は算数 []は日本語
	1 2	○混み具合は、面積と人数の関係で決まることに気づき、混み具合の比べ方に興味・関心をもつ。	【考】単体量あたりの考え方をを用いて、混み具合の比べ方を考え、説明している。 [聞・読] 比較の表現「どちらのほうが～」が分かり、問われていることを理解している。
	3	○人数と面積を用いて、混み具合を比べることを通して、単体量あたりの考え方や用い方を理解する。	【考】単体量あたりの考え方をを用いて、混み具合の比べ方を考え、説明している。 【主】混み具合に比べ方について、多面的に考え、より良い方法を追求しようとしている
	4	○数直線を使って、単体量あたりの大きさを求めるための考え方を説明する。	【知】図を用いて数量の関係を考え、単体量あたりの大きさの求め方を理解している。 【知】「1あたりの～」という用語の意味を理解している。

5 (本時)	○いろいろな1あたりの大きさを求め、それを利用して問題を解決したり、問題を作ったりする。	【知】「単位量あたりの大きさ」の用語とその意味を理解し、いろいろな単位量あたりの大きさを求めて比べたり、問題を解決したりしている。 [話・書]・自分の考えを「まず・つぎに・だから」などを使って説明している。 ・比較「～のほうが・・・です。」を使った表現を使っている。
6	○「人口密度」の用語とその意味を理解し、計算で求めて比べる。	【知】「人口密度」の用語とその意味を理解し、人口密度を計算により求め、比べている。
7	○基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	【知】単位量あたりの大きさの意味と求め方、比べ方を理解している。 【考】混み具合を比べる式について、その意味や計算によって得られた数値の意味を考え、説明している。

6 本時の計画

(1) 目標

①算数科の目標

いろいろな1あたりの大きさを求めることを通して、「単位量あたりの大きさ」の用語とその意味を理解する。また、単位量あたりの大きさを利用して、問題を解決する。

キーワード：どちらのほうが～ですか・1あたりの大きさ・単位量あたりの大きさ・ねだん・安い・走る道のり

②日本語の目標

[話す・書く] ・自分の考えを「まず・つぎに・だから」などを使って説明することができる。
・比較「～のほうが・・・です。」を使った表現を使うことができる。

(2) 授業展開

展開	学習活動	主なやりとり (AU を参照)	支援
導入	1 前時の学習を思い出す。	T：前の時間は、どんな勉強をしましたか。 C：1mあたりの値段を考えました。	・これまで学習をまとめた図や資料を掲示する。
	2 本時のめあてを確認する。	T：今日は比べる勉強をします。	・見通しが持てるよう、学習の流れを提示する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">めあて 1あたりの 大きさで くらべよう。</div>			
展開	3 ワークシートの問題①を読み、問われていることを理解する。	T：はじめに、これを見てください。	・問題文の意味を理解できるように、読む前に絵や図を提示する。 ・リライトした問題文を用意する。

	<p>4 どのようにすれば比べられるか、自分の考えを式や図で表現する。</p> <p>5 1 mあたりの値段を考えて、答えを求める。</p> <p>6 自分の考えをワークシートに書き、説明をする。</p> <p>7 問題②を読み、問われていることを理解する。</p> <p>8 ガソリン1 Lあたりの自動車が走る道のりを考えて、答えを求める。</p> <p>9 自分の考えをワークシートに書く。</p> <p>10 自分の考えを発表する。</p>	<p>T：どうすれば比べることができますか。</p> <p>T：答えを求めましょう。</p> <p>T：どのように考えましたか。 C：1 mあたりの値段で考えました。 T：考えたことを、ワークシートに書きましょう。</p> <p>T：車が走った長さを、「走る道のり」といいます。</p> <p>T：答えを求めましょう。</p> <p>T：どのように考えましたか。 C：ガソリン1 Lあたりの道のりで考えました。 T：考えたことを、ワークシートに書きましょう。</p> <p>T：考えを発表しましょう。</p>	<p>・前時までに学習した「1あたりの大きさ」が使えることを押さえる。</p> <p>・数直線や式を使って説明できることを押さえる。 ・説明を書く欄は、問題①は穴埋めの形式、②は全文を書く形式にする。</p> <p>・問題文を読む前に、視覚資料を提示する。 ・リライトした問題文を用意する。</p> <p>・問題①で使った書き方を参考にするよう伝える。</p>
まとめ	<p>11 「単位量あたりの大きさ」という用語を使って、まとめ・振り返りをする。</p> <p>C：今日は、比べる勉強をしました。単位量あたりの大きさを比べることができました。</p>	<p>T：今日は比べる勉強をしましたね。比べるときは何を考えましたか。 C：1 mあたりの値段、1 Lあたりの走る道のりです。 T：これを、算数の言葉で「単位量あたりの大きさ」といいます。この言葉を使って、振り返りしましょう。</p>	<p>・2つの問題の「1あたりの大きさ」と、「単位量あたりの大きさ」という用語が対応するように板書する。</p>

(3) 評価の観点と方法

算数の評価

- ・学習活動6で、単位量あたりの大きさを使って答えを求めている。(ワークシート)
- ・学習活動11で、「単位量あたりの大きさ」という用語を使って振り返りをしている。(観察)

日本語の評価

- ・学習活動10で「～のほうが・・・です。」と書いている。(ワークシート)
- ・学習活動10で自分の考えが説明できている。(観察・ワークシート)

(4) 手立て

- ・授業の明確なイメージを持たせるために、学習の流れを掲示する。
- ・問題文の理解を促すために、映像などの資料を提示する。
- ・自分の考えは、式や図を介してやり取りをした後に書くという流れにする。
- ・前時までに学習したことを利用できるようにするために、前時までの学習のまとめを掲示する。
- ・考えたことを説明しやすくするために、ワークシートの説明を書く欄は、穴埋めから全文書くものとなるように段階を設ける。

